

第2回学校保健委員会 ～心とからだを育てる食育～

12月12日（火）に児童・PTAの代表と学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方や東中学校代表も出席し、学校保健委員会が行われました。今回は食育をテーマに実践報告や意見交換が行われました。主な内容を紹介します。

1 学校栄養士による食育指導について

栄養教諭や学校栄養士が給食時間に教室を訪問して食育指導を行っています。他に校内掲示資料や給食だより、放送原稿を作成提供、ホームページでの給食紹介などを行っています。

2 PTA親子料理教室について

例年行っている調理実習を今年度は親子料理教室として開催しました。お父さん、おばあちゃんの参加もあり、計57名で賑やかで楽しい実習を行いました。（保健だより No. 8 に掲載）

食育とは、

- ①生きる上での基本。知育、徳育、体育の基礎となるもの
- ②様々な経験を通じて「食」の知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること

1月6日(土) 8:00～8:30
群馬テレビ「はばたけ！ぐんまの子どもたち」の番組で、富小の親子料理教室や弁当の日の様子が紹介される予定です。ぜひご覧ください。

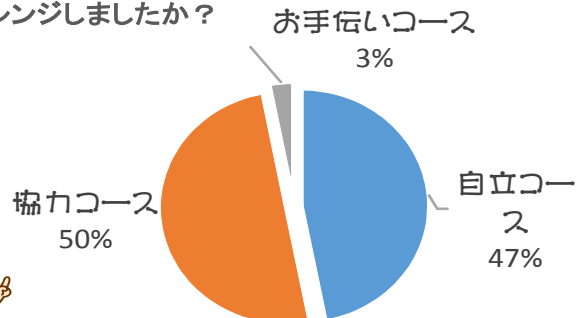
3 「弁当の日」について

「弁当の日」とは、子どもが自分で弁当作りを行い、その体験を通して様々なことを学ぶ取組です。

5、6年生を対象に自分で取り組むコースを決め、弁当作りを行いました。

自立コース …全部自分で作る
協力コース …家の人と一緒に作る
お手伝いコース…家の人を作るのを手伝う

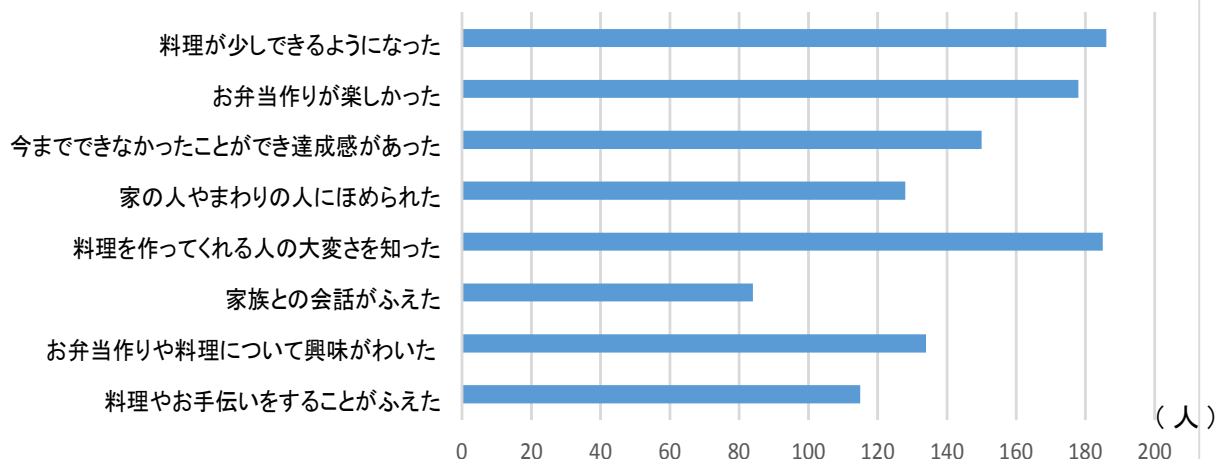
君はどのコースに
チャレンジしましたか？



実施後のアンケートでは、グラフのような結果でした。



「弁当の日」にチャレンジして、何か成長したことやよかったこと



(裏面に続きます)